

平成 28 年 6 月 3 日

各位

株式会社 TOKAI ケーブルネットワーク

「TOKAI ケーブルネットワークのグループ会社である エルシーブイ株式会社の自主放送番組がギャラクシー賞受賞」のお知らせ

株式会社 TOKAI ケーブルネットワーク（本社：静岡県沼津市、代表取締役社長：福田安広、以下「当社」）のグループ会社であるエルシーブイ株式会社（長野県諏訪市、代表取締役社長：坂本万明）の制作番組が、第 53 回ギャラクシー賞のテレビ部門において入賞しましたのでお知らせいたします。

受賞した作品は、長野県富士見村（現富士見町）から、戦前に満州に開拓団として渡り、終戦を迎え苦難の末に帰国した 12 人のインタビューに基づき作成したドキュメンタリーであり、平成 27 年 11 月 8 日（日）にエルシーブイ放送エリアで放送したものです。

■番組名：「満州 富士見分村～戦後 70 年の証言～」

■番組内容

戦前から終戦にかけて、長野県は全国で最も多くの開拓移民を満州（今の中国東北部）に送りました。しかし、長野県内の市町村で最も多くの開拓移民を送った旧富士見村（今の富士見町）の事は地元でもほとんど知られていません。本番組では、元開拓団員とその家族合わせて 12 人の証言と貴重な資料映像を記録にまとめました。なぜ、多くの村人が満州に渡ったのか。そして戦後の混乱をどう生き、今、何を思うのか。村の開拓団員のほとんどが参加した「富士見分村」の歴史をたどりました。



今回、ギャラクシー賞のテレビ部門で、平成 27 年に放送された全てのテレビ番組から約 400 本以上の推薦作品や応募作品があり、その中から選考委員により高い評価を得て選定された入賞 14 作品に選ばれました。

ギャラクシー賞は、NHK・民放各社・BS・CS・ケーブルテレビなどが、すべて同じ土俵で審査され、出品される作品もノンジャンルで競う為、放送業界では日本国内テレビ番組作成で最も権威ある賞とされ、「日本のエミー賞」とも、「放送界のアカデミー賞」とも呼ばれております。

当社グループ会社でのギャラクシー賞の受賞は今回で3回目となり、全国のケーブルテレビ事業者（日本ケーブルテレビ連盟加入374社 平成28年3月16日現在）の中で、際立った受賞実績数となりました。また、エルシーブイは、「平成18年7月豪雨」における緊急報道特別番組及び一連の報道活動において、第44回ギャラクシー賞（平成18年度）の「報道活動部門」で受賞しており、ケーブルテレビ業界で「報道活動部門」「テレビ部門」の両部門の受賞を達成したのは、エルシーブイが初めてとなります。

（グループ会社の受賞回数：エルシーブイ株式会社2回、株式会社倉敷ケーブルテレビ（岡山県倉敷市）1回）

TOKAIグループは、放送事業の他、LPガス、宅配水、情報通信サービスなど全国256万のお客様に生活インフラサービスを提供しております。放送事業は、静岡、神奈川、千葉、長野、岡山の5県で事業展開しており、現在約70万件のお客様を有し、ケーブルテレビ業界では全国で6番目の顧客規模となっております。

今後についても、お客様にご満足いただける番組制作に取り組み、地域に根差した情報をお届けしてまいります。又、自治体情報や警察情報などの地域の暮らしの情報から、地震・津波情報等の緊急情報まで正確な情報をいち早く発信してまいります。

【お問い合わせ先】

株式会社 TOKAI ケーブルネットワーク

TEL:0120-696-942（通話料無料、受付 9:30 ～ 18:30）

<http://www.thn.ne.jp/>